

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 2年12月25日更新

事務事業名		消毒機械貸出事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政 策	4	生活環境の健康				所属部	市民生活部	課長名	岡田 光弘
	施 策	18	住環境の充実				所属課	環境衛生課	担当者名	小野 幸介
	施策の柱	56	環境衛生の充実				所属班	環境衛生班	(内線)	1143
予算科目		会計一般	款 4	項 1	目 7	事業連番 11471	根拠法令	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律		
終了、開始年度		☐ 31年度で終了 ☐ 31年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	衛生害虫を駆除することにより、伝染病の予防を目的として開始した。平成24年度から各自治会(区)の判断で実施する区へ消毒機械の貸出しを行い、消毒薬剤の購入は各自治会負担とした。
【業務の流れ】	消毒機械の点検・修理・貸出し
【主な予算費目】	修繕費
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動) (DO)		2年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
消毒機械の点検・修理・貸し出しを行った。(消毒機械の貸し出し: 21台 消毒実施世帯数: 412世帯)		消毒機械の点検・修理・貸出し
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
⇒ ア: 消毒機械の貸し出し数	件	消毒機械点検修理台数の変動に伴う修繕費の減
⇒ イ:		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
家屋		⇒ ア: 世帯数
		⇒ イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
衛生害虫の駆除		⇒ ア: 消毒実施世帯数
		⇒ イ:
*③成果指標設定の理由と 2年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
衛生害虫を駆除することにより、伝染病の予防を目的としており、成果指標を「消毒実施世帯数」と設定した。令和2年度目標値は実施する世帯数が減と考え「500戸」と設定した。		全体計画
		～ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費 の推移		単位	29年度 実績(決算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	31年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	3年度 予定	4年度 見込	5年度 見込	
① 活動指標	ア イ	件	4	5	5	8	5	5	5	5	
② 対象指標	ア イ	戸	24,021	24,519	24,100	24,835	24,970	25,238	25,640	25,992	
③ 成果指標	ア イ	戸	457	563	570	412	500	500	500	500	
投 入 費 用 人 件 費	財 源 内 訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	190	100	121	121	106	121	121	121
	(A) 事業費計	(A)のうち指定経費	千円	190	100	121	121	106	121	121	121
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	3	3	5	3	5	5	5	5
	延べ業務時間	時間	105	105	150	105	150	150	150	150	
	(B) 人件費計	千円	415	413	597	416	597	597	597	597	
トータルコスト(A) + (B)		千円	605	513	718	537	703	718	718	718	

事務事業名	消毒機械貸出事業	所属部	市民生活部	所属課	環境衛生課
-------	----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は31年度の後評価、ただし複数年度事業は31年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①31年度目標達成度評価	☐ 達成した ☒ 達成しなかった ⇒【原因】 貸出希望者数は増加したが、消毒実施世帯数が減少したため。
	②2年度目標達成見込み	☐ 目標達成見込みあり⇒【理由】 平成24年度から消毒薬剤を自己負担にしたため、実施世帯が減ってきていることもあり目標達成は難しい。 ☒ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 消毒を実施する世帯が減少してきている。 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 類似事業がない
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 事業費が修繕費なので削減できない。 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 最少人員で行っているので削減の余地なし ☒ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 受益者負担の見地から、薬剤は使用者負担とした。 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第28条に規定する発生予防の目的に資するので適正である。 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（CHECK）

消毒機械の点検・修理・貸し出しを行った。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

☐廃止

☐休止

☐目的再設定

☐事業統廃合・連携

☐事業のやり方改善（有効性改善）

☐事業のやり方改善（効率性改善）

☐事業のやり方改善（公平性改善）

☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策